

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2023年 6月 30日

埼玉県知事 殿



提出者

住 所 東京都港区東新橋一丁目9番1号
東京汐留ビルディング18階

氏 名 株式会社 ピーエス三菱
東京土木支店

支店長 武田 哲郎

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-6385-8082

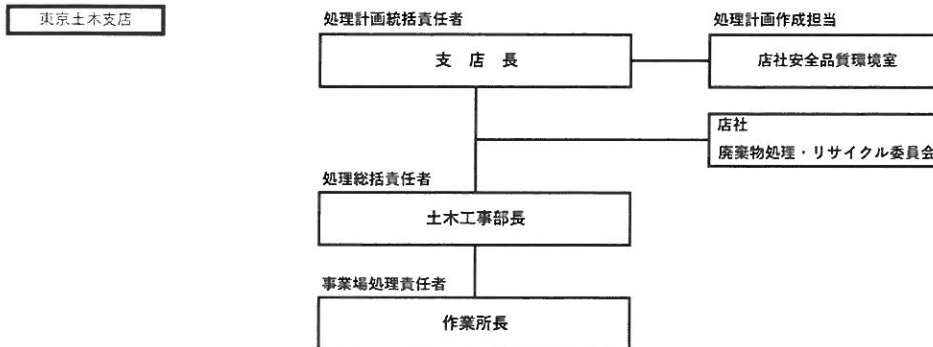
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 ピーエス三菱 東京土木支店
事業場の所在地	東京都港区東新橋一丁目9番1号 東京汐留ビルディング18階
計画期間	2023/4/1~2024/3/31
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	エリア内元請完成工事高 14,611百万円/年
③従業員数	150
④産業廃棄物の一連の処理の工程	基礎工事・躯体工事→がれき類(コンクリートがら)→再生処理業者に委託して再生砕石として再資源化、基礎工事・躯体工事→廃プラスチック類→再生処理業者に委託してRPF燃料として再資源化、基礎工事・躯体工事→金属くず→再生処理業者に委託して、スクラップとして再資源化、基礎工事・躯体工事→木くず→再生処理業者に委託して、チップとして再資源化、基礎工事・躯体工事→廃石膏ボード→広域認定制度等により再資源化、基礎工事→汚泥→中間処理業者に委託して脱水後、流動化処理土埋立処分、基礎工事・躯体工事→混合物→中間処理業者に委託して、分別実施、それぞれ再資源化等を実施

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（令和4年度）実績】		
産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
排出量	380.4 t	136.5 t
産業廃棄物の種類	その他がれき類	廃プラスチック類
排出量	10.3 t	37.4 t
産業廃棄物の種類	混合廃棄物（安定型のみ）	木くず（伐木除根材等）
排出量	3.2 t	1693.4 t
産業廃棄物の種類	建設汚泥	紙くず（段ボール以外）
排出量	68.3 t	1.0 t
産業廃棄物の種類	木くず	混合廃棄物（管理型含む）
排出量	130.9 t	3.5 t
産業廃棄物の種類	段ボール	
排出量	0.4 t	t
（これまでに実施した取組） ・包装材の簡素化を行う。 ・無駄な発注を避ける。 ・不具合・不適合製品（構造物）を発生させない。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	排出量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	廃プラスチック類
	排出量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物（安定型のみ）	木くず（伐木除根材等）
	排出量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	紙くず（段ボール以外）
	排出量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	木くず	混合廃棄物（管理型含む）
	排出量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	段ボール	
	排出量	0 t	t
	（今後実施する予定の取組）		
	・当該エリア内、工事予定なし。		
	産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・廃プラスチック類、金属くず、木くず、がれき類、廃石膏ボード、紙くず（段ボール）はそれぞれに分別し、保管している。		
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・継続して分別保管を徹底する。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	(全種別)	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	(全種別)	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	(全種別)	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	(全種別)	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t

		(今後実施する予定の取組)
--	--	---------------

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	(全種別)	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	(全種別)	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず(伐木除根材等)
	全処理委託量	37.4 t	1693.4 t
	優良認定処理業者への処理委託量	6.3 t	4.9 t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

	<p>(これまでに実施した取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可能な限り再生利用業者への処理委託を行うことで、最終処分量の低減を図る。 		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	木くず
	全処理委託量	68.3 t	130.9 t
	優良認定処理業者への処理委託量	67.1 t	5.2 t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
<p>(これまでに実施した取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可能な限り再生利用業者への処理委託を行うことで、最終処分量の低減を図る。 			

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	(全種別)	
	全処理委託量	0 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	t